

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ 会報



会長 藤本 範行
副会長 松尾 正博
幹事 中武 泰一郎
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル泉屋 2F
事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
 ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第1898回 平成27年9月17日プログラム

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング
我らの生業 | 8. 各委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 9. 外部卓話 |
| 4. 会長の時間 | 10. 次週例会案内 |
| 5. 幹事報告 | 11. 点 鐘 |
| 6. 出席報告 | 12. |

2730 地区ガバナー 野中 玄雄

中部分区ガバナー補佐 橋口 正樹
 RI テーマ 『世界へのプレゼントになろう』
 第2730 地区テーマ 『奉仕は力！活かそう例会』
 高鍋ロータリークラブテーマ
 『創立40周年へのプレゼントになろう』
 9月の月間テーマ
 基本的教育と識字率の向上月間

本日の例会案内

- *外部卓話—高鍋高等学校校長 早日渡志郎様
- *100万ドル *プログラム委員会

次週例会案内；9月24日（1899回）

- *夜間例会 18：30～
- *観月会 於；お大師様

第1897回 例会内容

■会長の時間

会長 藤本範行

皆さんこんにちは。先週のガバナー訪問は、お疲れ様でした。これまでの高鍋RCの伝統の力、SAAさん方の用意周到な準備、石井出席委員長のアイデアもありまして、素晴らしい例会とすることができました。クラブ協議会も3人の発表が素晴らしく、とても内容のあるものになりました。



「奉仕は力！活かそう例会」を地区のモットーに掲げておられる野中ガバナーは、とても喜んで「学ぶべき所が多い例会でしたよ」と言って帰られました。ご尽力くださいました皆さんに心から感謝申し上げます。

さて、9月の童謡曲には、「赤とんぼ」を選曲しました。

子供にも大人にも馴染みのあるこの曲は、詩人であり童謡作家である三木露風が作詞し、日本を代表する音楽家である山田耕筰が作曲したものです。今日は、この赤とんぼの歌詞に深い意味が隠れていることを学んでください。

三木露風は5歳の時に両親が離婚し、お母さんは実家に帰ったので、祖父と淋しい子供時代を過ごしました。そこに子守奉公の姐や（12歳くらいの少女）が働きに来てくれて、面倒を見てもらっていました。その頃、おんぶさ

れて見た、夕焼けを背後に飛んでいた赤とんぼの思い出を「負われて見たのはいつの日か」と懐かしがっています。

三番の歌詞は、貧しい農家出身の姐やが、しばらくして15の若さで嫁に行くことになった時のものです。お母さんの古里からのからの便りもさっぱり来なくなって、姐やとの別れとの二重の寂しさを歌っています。

最後の四節の「竿の先」に止まっている赤とんぼを見ながら、幾年月も前の情景を思い出しています。忘れえない子供の頃の懐かしい鮮烈なシーンを思い浮かべています。

童謡はいいですね。明治時代から愛され続けた童謡は、歌詞もメロディーも素晴らしいけど、私たちは意外にも深い意味を知らずに歌っています。これからも毎月第2週に四季折々の童謡を歌っていきます。歌詞にどんな意味があるのかを知って歌ってみると、より童謡の素晴らしさがわかります。

今週も、良き週末を送ってください。私事ですが、今から空港に向かいます。お祝い会があり、滋賀の長浜に向かいます。理事会と実行委員会は、すみませんが副会長にお願いします。

<理事会報告>2015.9.10開催

1. 尾崎敏弘君の職業分類の件 農業（獣医）で承認
2. 地区大会参加の件（10月17日 登録料＝9,000円）
クラブ負担5,000円 会員負担4,000円で承認
3. IM参加の件（11月7日） 全員登録2,000円徴収
4. パスト会長会開催の件 10月1日（木）開催
5. 米沢上杉訪問の件 地区大会登録料10,000円徴収

■幹事報告<文書案内>

*第3期RLI-2730パートI案内

日時 2015年11月29日(日)
9:30~17:20

場所 宮崎日大高等学校
登録料5,000円 昼食800円

*ロータリー勉強会のご案内

日時 2015年10月21日(水)

場所 ホテルマリックス2階
参加費500円 懇親会費3,000円

幹事 中武泰一郎君



さて、今年国際ロータリーの最重要事項は「会員増強」「ポリオ撲滅」そして「公共イメージアップ」の三つです。これは昨年度と同様です。私はこれらの課題に対して、今年度ガバナーの立場より二つの具体策を講じております。

一つに、公式訪問例会に対する配偶者(ご夫人)のご出席依頼です。これに対して藤本会長夫人をはじめ4名の方々にご出席をいただき誠に有難いことです。今後のクラブ発展を図る上では、何よりご夫人・ご主人のロータリーへの理解と応援は不可欠です。近隣の韓国や台湾のクラブでは会員が年々増強されています。その要因を尋ねますと、ことに女性会員の増加と配偶者の参加協力が挙げられています。何しろ、夫人は今日ではRIの職業分類上「家事」業とされ、会員増強の対象ともされています。そう考えますと、ご夫人の会員増強はともかくとしても、ご夫人方からのクラブ支援は頂きたいものです。

ちなみに、私の所属する延岡東RCでは、30年前からクラブ夫人会「カトレア会」を結成しております。貴クラブにおいても、ご夫人を含めた家族親睦行事は活発かと存じます。しかしながら、この「カトレア会」は、実は我がクラブの一番の理解者であり協力者です。クラブの出席率や米山・財団の協力も陰から支援してくれております。いずれに致しましても、女性会員の増強も急がれますが、家庭や職場の皆さんの応援はクラブの活性化に欠かせません。まさに「家族・職場と共にロータリー」であります。

そして、第2番目の方策として、「ロータリー・アピールポスター」を作製しました。地区内全会員宛てに2枚ずつ郵送いたしております。お手元のAサイズのチラシはその縮小版です。ポスターは家庭に1枚・職場に1枚、貼っていただくものです。何より、このポスターを通じて身近な人にロータリーを伝えてもらいたいと思います。

ちなみに、ポスター・チラシの内容は、RIテーマ「世界へのプレゼントになろう」を頭にかかげ、中心にはテーマロゴマークとテーマの原語「Be a gift to the world」を置いています。

また、上段の写真に「ポリオ撲滅」「水と衛生」「東日本大震災被災地児童・生徒支援の福島キッズ」。そして、中段には「ポリオ予防接種活動」やこの4月の延岡市内3RC合同開催の「ポリオ撲滅ロータリーデー・街頭募金」の様態です。さらには、下段には4つのテスト。ロータリーの目的、ロータリーの行動規範も並べております。このポスターやチラシを通じて、ご家族や職場の皆さん或いはご友人・知人にロータリーを伝えて頂きたいのです。例えば、ロータリーとライオンズの違いは何ですかと、尋ねられた場合もこのチラシを縮小コピーするなどして、いつも携帯しておけば、少なくともロータリーの趣旨・目的・活動ぶりは伝えられるはずで。

何より、ロータリーの根幹となる精神は「奉仕の理想」であります。今では「奉仕の理念」と言いかえられてはおりますが、いずれにいたしましても、「ロータリーの奉仕」とは何かを伝えたいものです。そのためには、ロータリーの二つの標語の「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。」を理解しておかねばなりません。

■BOX披露

親睦活動副委員長 鍋倉春代君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

藤本範行君 例会終了後、すぐに空港に向かいます。理事会、実行委員会よろしくお願ひします。九電の甲斐君卓話を楽しみにしています。

坂田師通君 入会させていただいて4年になります。これからも宜しくお願いします。



■出席報告

出席委員 小泉 潔君

出席状況 (9/10)

会員数	46名
出席会員数	40名
ホーム出席率	86.96%
前々回修正出席率	77.78%



☆公式訪問ガバナーアドレス (2015.9.3)

ガバナー 野中 玄雄 様

皆さまこんにちは、ガバナーの野中です。

本日は、年度恒例の公式訪問にあたりまして、高鍋RC藤本範行 会長はじめ会員皆様には、親しく歓迎頂き誠に有難うございます。また、地区委員会活動にもご理解を頂き、井上博功 ロータリー財団(補助金・ポリオプラス委員)に輩出頂き、お世話になっております。

さて、本日は例会に先立ち会長・幹事・会長エレクトとの事前懇談。その後、新会員皆様・女性会員・配偶者との懇談会の機会を設けて頂きました。

皆さんからは、口々にロータリーを通じて色々な人との出会いの機会を得た。クラブの居心地が良い。ロータリーの用語は難しい。今後慣れて行きたい。などの貴重な意見があり短い時間ながら有意義でありました。そして、会長からは、クラブ概況と今年度の活動方針を懇切にご報告もいただきました。それによりまして、本年は創立40年。これにあたり、会長は「創立40周年のプレゼントになろう」をクラブテーマとして掲げられております。

それにしても、当クラブの例会場は明るく和やかです。しかも、ガバナー歓迎と23年ぶり100パーセントホームクラブ全員出席にあたり、お祝いのくす玉は何とも華やかです。

しかし、伝えることは中々難しいかもしれません。実は、このヒントになるのがRI 会長の掲げる年度テーマ「世界へのプレゼントになろう」であります。

ラビンドランRI 会長は、次の言葉を添えてテーマの説明を行っています。「結局の所、私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されるのです。」この言葉には、胸打たれます。そういう訳で、私は、地区モットーを「奉仕は力！活かそう例会」としました。相手に対して心からなる奉仕。それを今回RI テーマではギフト・プレゼントの言葉で表現しております。まさにロータリーの奉仕の精神を換言したものです。

RI 会長によれば、プレゼント（ギフト）は「お返し、恩返し」と述べております。さらに、会長は次のように述べています。「ロータリーは、私たちの資質を引出し、それを人生で生かす道を見つけられます。」と。まさに、例会出席や会員増強・退会防止の意義はここにあります。

ロータリーは、実は私達人間一人一人に与えられた、資質・才能・善意・そして可能性をお互いに、引き出し合うクラブなのでもあります。このロータリーの魅力・特徴を私たちは今後、広く伝えてゆかねばなりません。より良き企業・商店を目指しながら、より良き地域社会を築くために。そして、世界平和に少しでも貢献するために。

私たちロータリー会員は、「ロータリアン」との誇りを胸に、邁進せねばなりません。このことは、会員増強に対するもう一つの大切な意義でもあります。そのためにも、ポリオ撲滅運動はじめクラブ独自の社会奉仕活動の推進は大切です。それによって、ロータリーは地域社会の信頼を得て、他の団体・グループのあらたなる活動指針の参考となるはずで。その点、地元メディアとの連携を良く図りたいものですね。

終わりに、今年の10月16日（金）～18日（日）の地区大会、あらためて多数のご参加をお待ちします。当日は、特別講演にジャーナリスの櫻井よしこさん。そして、田中作次RI 元会長によるセミナーも計画しております。

さらに、来年5月27日（金）～29日（日）は韓国ソウルでの国際大会です。日本からは1万人。当地区からは、200人を目標に募集しております。世界のロータリーにご一諸に触れてみて、新たな感動触れてみましょう。

尚、国際大会の取りまとめは分区単位でお願いします。クラブ会長から、ガバナー補佐に参加予定者をお伝え下さい。第一次締め切りは8月末日です。

いずれに致しましても、高鍋RC様の今後益々のご発展と当年度の大成功を心からご祈念致します。

ご清聴ありがとうございました。

<公式訪問クラブフォーラム>2015.9.3

「例会について」

SAA 岡島達雄君

野中ガバナーの方針で地区研修・協議会では、初めてSAAの研修があった。ロータリーの基本は例会にあり、例会出席はロータリアンの義務である。また、ロータリーの例会は人生の道場であるとも言われる。

厳粛に有意義にかつ楽しく運営したいと思っている。

1. 例会の出席

「連続4回例会を欠席しメイクアップもしないときは、理事会で会員身分の終結手続きに入ることができる。

例会に出席するとは、その時間の60パーセント以上在席することである。途中退席せざるを得ないときは、それが妥当であるとクラブ理事会が認める理由を提示する。」これは例会を規律あるものにするとともに、ゲスト、ビジターを失礼なくおもてなしするためのものでもある。

わがクラブでは、その精神は、十分理解しているつもりであるが、これ等の出席規定を厳密に守っているわけではない。あまりに難しいことをいうと会員の気持ちが萎縮して会員減少につながるのではないかと懸念があるから。

2. 例会等の食事

「わがクラブは、例会時の食事でも質素にして会費を抑制してきた。例会を欠席する場合には事前に申告してもらい、準備する食事の数を決める。例会数の約半分の食事は、前日までに会員の経営するレストラン等に弁当を発注して当日会場に届けてもらう。無断欠席者が出ると無駄が生じるので、SAA、出席委員会、事務局は、かなりの神経を使っている。」

会員から、たまにはきちんとしたホットランチをいただきたい、との声がある。都市部のクラブでは、会場のレストラン等が対応するので出席者やビジターの事前登録を要しない。数年前財団プログラムのGSEで米国南東部に派遣されたとき7クラブの例会に招待された。そのときの地方クラブの食事は、会員が分担して料理を持ち寄るポットラックパーティー形式か日本でいうバイキングスタイルが多かった。

「友」8、9月号の「例会の食事のエピソード」は、例会の食事を楽しくするためのアイディアの宝庫である。

たとえば京都平安RCでは、食事希望者は、前月に予約する。弁当には、注文者の名前入りシールが貼られている。健康上の理由がある人や、食事を済ませて来る人には無駄がない。

3. 卓話

「例会を楽しくする、そして例会の出席率を向上させるためにはいい卓話を企画することが大切。会員がどんな卓話を希望するかアンケートをとるのが一番、と言われている。希望する卓話は、人のよって同じであるとは限らない。

クラブ会長就任の1月前、東京RCへ自主研修に行った。この日の卓話は、ヒト・レニン遺伝子の暗号解読に成功された村上和雄氏の「心の遺伝子をオンにする」であった。マスコミなどで報道されているのでご存じのかたも多いとおもうが、これは「念じれば花開く」の生命科学的な解釈であると思う。私の18年間のロータリーライフで聞かせていただいた卓話の中で最も素晴らしいものの一つであった。この卓話は、ビジター料金の数倍もの価値があったと思われる。

わがクラブで好評だったのは、日本銀行宮崎連絡所長の卓話などである。

4. まとめ

- ・クラブ例会の運営も R I の標準 RC 定款等によらなければならない。
- ・あまり難しいことを言うと嫌気がして、会員減少につながる。
- ・最近 92 歳で亡くなられた島子会員は「ロータリーは温くもり」だ。「寛容のこころ」が大切と言っておられた。
- ・5 年前の「長期計画」では、わがクラブは「農村型の RC」であると位置づけた。クラブの運営は、身の丈にあったものでないと長続きしない。

これらの要件を勘案しながら自分たちで判断することだと思う。

<公式訪問クラブフォーラム>2015. 9. 3 小泉 潔君

私は、今年 2 月に高鍋ロータリークラブに入会を許可していただいたばかりの新入会員となります。

入会した際、会員の名前と顔を覚える為に出席委員となりました。早めに例会に出席したところ SAA 委員長の木村先輩から国旗などの会場設営を厳しく教えていただきました。その木村先輩が、「次回からは小泉君たのむよ。」と言われました。

入会した際、ロータリーには No はないと指導されていたので、その後ほとんどの例会で、私が会場設営するようにしました。

それから、向山出席副委員長が早めに来られて事務所に立ち寄られ、何かと仕事をされていることに気づきました。そこで私は、向山先輩よりも早く来て事務所に立ち寄り、何かと手伝いをして、その後に会場設営をするようになりました。私としては、毎回例会での自分の役割を得た気持ちで充実した生活ができるようになりました。

例会では、先輩たちと色々な話を聞いたりすることで何かしら自分が成長出来ていると実感しているところです。

私は、今のところ SAA、出席、社会奉仕、それにソングリーダーまでやらせていただいています。先月の 8 月 27 日の例会日に 23 年ぶりのホームクラブ出席率 100% を達成する事が出来ました。石井出席委員長は、押しの強い方で並々ならない努力をされて、100%出席を達成され、感謝しています。

出席委員の私としては、会員の皆さんに心から感謝させていただきます。ありがとうございました。

私は、例会日が休みに変わった日は淋しく、会員卓話を訪問したい気持ちに駆られています。まだ入会して間がないのでしばらくは我慢しようと考えています。

私は、警察退職後の第 2 の人生は、高鍋ロータリークラブの一員として皆様にご迷惑をかけないように生きていきたいと思っています。

今後とも宜しくお願い致します。

■新入会員卓話

高鍋営業所の中には「配電指令室」があります。

- ・配電線の電圧や電流、停電の発生などの状況を大型コンピューターシステムを使用して監視したりコントロールする所です。

配電設備（電柱についているもの）の説明

- ・当社の仕事にとって大事な配電設備の説明をします。

高圧線：6600V の電圧

低圧線：200V、100V の電圧

変圧器：6600V の電圧を 200V、100V に変える機器です。

電柱：全長 9m ～ 17m の物まであり電線の大きさなどに合った強度の物を建てています。

停電が起こったら・・・！

約 30 秒後、渡辺通線のしゃ断器 (CB1) が「入り」0 区間が送電されます

甲斐英治君



雑誌紹介 曾我部君



クラブ研修委員長 福岡君



40 周年実行委員長 黒木君



橋口君



副 SAA 高橋君



ピアノ演奏 森幸子さん